

吉岡温泉建設に向けて木質バイオマスボイラー導入自治体等を視察

厚沢部町【上里温泉】

燃料となる木材チップは、夏場は乾燥するが、冬場は乾燥が進まずトラブルが多い！

○生チップと含水率

杉・トドマツなどの水分が多い木質チップはトラブルの原因になるため、カラマツの木質チップを主に納入してもらっている。

業者が木質チップの含水率^{がんすいりつ}を調べて納入し、管理人も工夫しながら対応しているが、2～3ヶ月に1回トラブルが発生している。

【視察概要】 R 3.11.17開催

吉岡温泉の建て替え基本計画において、熱源を重油ボイラーから木質バイオマスボイラーへ変更する旨の提案があり、実際の運用について導入している町の視察をしました。



上里温泉の木質チップ堆積場視察（厚沢部町）

知内町【役場庁舎ほか公共施設】

黒字経営で指定管理料0円！
含水率^{がんすいりつ}証明書を添付して木質チップを納入！

○森林組合に指定管理委任

木質バイオマスボイラー導入前に町と森林組合で収支計画を事前協議し、指定管理料がなくても黒字経営が見込めることを確認し導入された。森林組合が未利用材の購入、乾燥、破碎^{がんすいりつ}、含水率の確認をし、含水率50%以下の証明書を添付し町へ木質チップを納入している。

森林組合では道内外発電所や近隣自治体への木質チップの販売、ストーブ用の薪の販売も行っている。



バイオマスボイラーの燃料になる木質チップ



木質チップ燃料製造施設視察（知内町）

千軒地区【安岡建設工業(株)施設】

家屋の解体材や支障木などの産業廃棄物も破碎し燃料として活用！

○木質チップの状況

伐採後の未利用材を野ざらしで1年半程度乾燥させた後、破碎し、整備した施設に一時保管している。木質チップは道内外のバイオマス発電所や関連業者へ納入している。



千軒地区の木くず再生プラント視察

渡島西部四町議会議員連絡協議会視察研修レポート

福島県伊達市視察：元気づくりシステム、防災対策

渡島西部四町議会議員連絡協議会による視察研修については、昨年度は新型コロナの影響から中止しておりましたが、緊急事態宣言が解除された後、11月8日(月)から10日(水)の日程で、松前町の伊藤議長を団長とした総勢21名が福島県伊達市において視察研修を行いました。

当町からは、杉村志朗議員・藤山大議員・平野隆雄副議長が参加しました。



説明を受ける議員（伊達市役所）

11月9日(火) 福島県伊達市役所 【元気づくりシステム・防災対策】

伊達市では、平成26年度に（一社）元気づくり大学の「元気づくりシステム」を活用した「元気づくりの会」を導入し効果を上げており、実施に至る経緯や課題等について説明を受けました。

同市は、令和元年10月に発生した東日本台風により甚大な被害を受け、地域防災計画の見直しや様々な防災対策を講じており、その内容についても説明を受けました。

11月9日(火) まちの駅やながわ 【現地視察】

伊達市では、令和元年東日本台風で広範囲にわたる浸水被害を受けた後、市内10箇所に市民が自由に持ち出し可能な「土のうステーション」を設置しており、そのうちの「まちの駅やながわ」にて、当時の状況や被災後の取り組みについて説明を受けました。



まちの駅の説明を受ける議員（梁川地区）



二本松城跡、二本松少年隊群像前での記念撮影

11月10日(水) 福島県二本松市 【国の史跡に指定されている二本松城跡を視察】

室町時代に築城され、日本百名城にも数えられる二本松城を視察しました。城門前には戊辰戦争において幕府軍として戦った「二本松少年隊（12歳から17歳で編成）」群像が設置され、中では菊人形展が開催されておりました。